

表1 各産業における二酸化炭素排出量とピーク時の状況

分野	2020年排出量	ピーク時期	ピーク時排出量	対2020年比増加量
工業分野	－	第14次5カ年規画中	－	－
鉄鋼	18.1億トン	第14次5カ年計画の前・中期	18.1億トン	100万トン
セメント	13.6億トン	第14次5カ年計画の前・中期	14.2億トン	6,000万トン
アルミ精錬	－	第14次5カ年計画の後期	－	4,000万トン
石炭化学	－	第14次5カ年計画の後期	－	8,000万トン
石油化学	－	第15次5カ年計画末	12.1億トン	2.6億トン
電力	45.8億トン	2031年	50.7億トン	4.9億トン
交通(注)	11.6億トン	2028年	16.3億トン	4.7億トン
建設	21.7億トン	2029年	28.1億トン	－

(注) 交通分野の排出量および、ピーク時排出量との比較対象は2019年。
(出所)「基于重点行業/領域的我国碳排放达峰路径研究」を基にジェトロ作成

表2 4つの措置の二酸化炭素排出削減割合と投入金額

4つの措置	排出削減割合	投入金額
クリーンエネルギーの導入	71.0%	—
非化石エネルギーへの代替	56.4%	—
石炭以外の化石エネルギーへの代替	14.6%	—
エネルギー効率向上	12.7%	2.9兆円
資源循環	10.2%	—
排出管理コントロール	6.1%	2.6兆円

(出所)「基于重点行業/領域的我国碳排放达峰路径研究」を基にジェトロ作成